

## 第1回 公立幼稚園・保育所のあり方検討委員会 会議報告

日時	令和2年9月3日(木) 10時～11時
場所	愛荘町役場 愛知川庁舎 第4会議室
出席名	(出席者) 検討委員 8名(欠席なし) 子ども支援課 5名 教育振興課 1名
会議内容	<p>1 開会  子ども支援課長</p> <p>2 あいさつ 町長</p> <p>3 委嘱状交付 石田委員に代表交付</p> <p>4 委員の紹介 資料1のとおり</p> <p>5 委員長・副委員長選出について 委員長(烏野委員) 副委員長(松宮委員)</p> <p>6 愛荘町公立幼稚園・保育所のあり方検討について 町長より諮問</p> <p>7 協議事項</p> <p>■会議の持ち方</p> <p>議事録は町ホームページで概要を公表。発言者の名前は伏せる。委員会の傍聴は、委員の自由な発言を抑制するため行わない。</p> <p>(1) 愛荘町の現状について 資料2-4のとおり</p> <p>(質疑・意見)</p> <p>■人口について</p> <p>【委員】愛荘町のように人口、子どもの数が増えているというのは稀な現象だが、今後、子どもたちが大きくなっていくにつれ、ニーズが変わっていく。</p> <p>■就労ニーズについて</p> <p>【委員】愛知川地域の3～5歳児の数は、今年度30人の減少だった。幼稚園の卒園児80人に対し、今年度の入園児が50人であることから、この30人の減少はすべて幼稚園に影響している。保育園の定員に対する入園率は100%を超えていることから、保育ニーズが高いことがわかる。また、3～5歳児の待機児童が0となっているが、就労予定等で点数が低く、保育園に入れなから幼稚園に入っている。そのため、幼稚園の開園</p>

時間の中にパートに出るといった話を保護者から聞いている。

【委員】求職中であるが、幼稚園の9時～14時では、通勤時間を含めて考えると、仕事を見つけるのが難しい。保育園に入りたいが、いっぱい入れない。30分でも1時間でも幼稚園の時間が長ければ、仕事探しの幅が広がり、働きやすい。幼稚園は祖父母のお迎えも多いので、仕事しながらの14時のお迎えは難しいのだと思う。

【委員】保育園は時間が長いので、安心して働けるが、幼稚園では時間が限られるので、預かり保育の希望が多いのはよくわかる。預かり保育があれば、安心して仕事に行き、落ち着いて迎えに行ける。

#### ■認定こども園について

【委員】幼稚園は4時間、保育園は8時間以上と決められている。「働きたい」というニーズ、「自分で子どもをみたい」というニーズがあり、いろいろな保護者のニーズに応えられるため、国はこども園を勧めており、近隣でも、保育園がどんどんこども園になっている。こども園のメリットとしては、保護者が働き始めても、短時部から長時部が変わるだけで、転園する必要がなく、転園による持ち物変更等もない。ただ、愛荘町は民間保育園が5園あり、民間は経営が成り立たないと存続できない。そういった民間の経営存続も頭に入れて、今後、話し合わなければいけないと思う。また、アンケートの結果で、「こども園を利用したくない」という人が27.2%あったとあるが、こういった理由で利用したくないのか、意見を聞きたい。

【委員】保育士不足について、働ける時間帯で募集し、だんだんと増やしていくしかないが、11時間の保育時間の中で人の連携が難しく、連絡ノートでの引き継ぎをしている。現場は苦労しながらやっていると思う。こども園については、当初、短時部、長時部によってお迎えの時間が違うため、お迎えが遅い長時部の子が寂しがるのではないかと心配したが、実際に開園してみると、子どもたちはそんなことは思わず、反対に短時部の子が残りたがっていた。また、これまで保育園に通う子は、地域の子と交われなかったが、こども園で短時部の子と交わるようになり、土日にも地域で遊ぶようになった。みんなが友達であるため、小学校に入学したときにも、落ち着いた雰囲気でも過ごすことができた、と小学校から報告を受けている。アンケートの利用したくないという意見につ

いては、保護者の不安もあるのではないか。

■保育士確保

【委員】県では、保育士資格取得に対する補助制度もある。質のよい保育士が育ってほしい。

(2) 次回会議等について

資料 1 参照

【配布資料】

資料 1 愛荘町公立幼稚園・保育所のあり方検討委員会 名簿、要綱、諮問

資料 2 人口の動向、将来推計、女性の就労ニーズ

資料 3 愛荘町の幼稚園・保育所施設の状況

資料 4 認定こども園のニーズ・制度比較